

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0329
施設名	多摩保育園
施設所在地	昭島市東町5-1-40
法人名	社会福祉法人 多摩育児会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「お散歩をバッグを作ろう」

<テーマの設定理由>

子どもたちが歩行が安定してきて、散歩先で探索活動をするようになってきて実を拾い集めている姿があった。自分で拾ったものが入れられて、何度も使える物はなにかと考えると散歩バックの制作をした。

2. 活動スケジュール

10月~2月くらい

シール貼りから初めて、子どもたちが好きな時にできるように活動の中に取り入れていくようにした。シールの大きさや素材を変えて、最後はタグシールをクリアファイルに貼りお散歩バッグを完成させた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

クリアファイル・タグシール・○シール・紙・シールを入れる容器・トレイ
いつでもできるように準備しておく。

4. 探究活動の実践

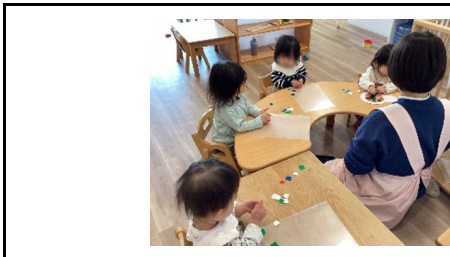
<活動の内容>

シール貼りを繰り返し行うことで、大きさの違うものや「あか」「あお」「きいろ」などと色も覚えて言葉にしていた。

始めは剥がすことが出来なかったシートからも、自分で剥がすことができるようになり自分で剥がしては嬉しそうにみせてくれた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

シール貼りから始めて、最初は上手く剥がせない子もシートを剥がしやすくしたり剥がしたものを手渡すと自分で好きな場所へ貼っていた。シール貼りに慣れてきたころにタッグシールに変えると、剥がしづらそうにして「やって」と保育者に手渡す姿があった。タッグシールにもなれてくると自分で剥がしたり、貼ったりもできるようになって楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

指先を使った遊びができるようになった頃に、シール貼りを導入すると子どもたちはとても興味を持ち取り組んでいた。素材や大きさを子どもたちの成長に合わせて変えることで、遊びの幅も広がっていた。自分で作ったバッグを持ち散歩にも出掛けることで、拾ったものを入れて楽しむ姿があった。

お青々歩バックをつくろう!!

どんぐり小道にお散歩に行くと、木の葉や落ち葉が
たくさん落ちていて子どもたちは一生懸命拾っていました。
それも見た保育者は、子どもたちと一緒に何か出来るものが
ないかな...??と思い、お青々歩バックを作ることにしました。



自分で作ったお青々歩バックを持ち
あちこち探検しています。
どんぐりや小石、落ち葉など
気に入ったものをバックに入れて
お友だちと見せ合いをしよう!!



まずは子どもたちが何に興味を持ち、どんなことが
出来るかなと担任で話し合いました。
指先を使ったあそび (落とす、入れる、つまむ...)
シール貼り、お絵かき... 歩行の練習等 たくさん
出来るので、お青々歩バックを作ることにしました。



バックの中に 拾ったものがたくさん
入っているのをみて「いはい!!」と
お友だちや保育者に手渡しをしよう!!
お友だちとのやり取りを楽しもう!!
「どんぐり!!」と手渡しをしよう!!



木の葉や落ち葉を
に貼って、何色も
貼り進めながら
このつがんと上手に
貼っていきます。

子どもたちは タグシールにも慣れてきて
保育者が手渡すのを待っています。
何色も重ねて貼ったり、文字の色を並べて
みてり!! 子どもたちなりに考えて貼っています。
見るとシールと落ち葉を貼っている子もいます。
保育者が「あか」「あお」と色の名前を言いつつ
シールを手渡すと、子どもたち「あか...」
「あお...」と声に出しています。



素材もどんなものがよいのかと 色々と試して
クリアファイルに見せました。
また、見せる物も タグシールにして、色が透けていて
子どもたちの名前も 何色も貼ったり (よか) が
出来ます。

振り返り

子どもたちの成長発達に合わせてどんなことに興味を持ち、何が出来るのかと その年齢
保育者間で共有しながら 日々の保育の中で取り入れていくようにしました。
シール貼りやお絵かき等だけでなく、子どもたちのやり取りという気持ちを大切にし
活動する事によって 色んな発見ができています。